

八丈高等学校 全日制課程（島外生徒受入事業等） Q & A

【島外から八丈高校全日制課程に入学する方法について】

Q：島外から八丈高校全日制課程に入学するには、どうしたら良いのですか。

A：方法が3つあります。

1 点目が、島しょ保護者とともに転居することが確実なこと。

2 点目が、都内の中学生で、入学日までに島しょ在住の身元引受人になり得る6親等以内（例：保護者の方のどちらかと一緒に移住する方法）の親族と同居することが確実なこと。

3 点目が、島しょ町村が独自に実施する「事島外生徒受入事業」に合格していること。
（保護者と離れて生徒本人のみが八丈島へ）

Q：「島外生徒受入事業」とは何ですか。

A：島の都立高校に通う方法のひとつなのですが、現在、神津高校と八丈高校が実施しており、神津高校は寮生活をしながら通学し、八丈高校ではホームステイをしながら学校に通う方法です。

Q：「島外生徒受入事業」に申し込めば、全員入学できるのですか。

A：神津高校も八丈高校も、どちらも定員がありますので、「島外生徒受入事業」に申し込みしていただいた後に、選考試験を受験し、その結果で入学候補者（応募資格の審査に代える）が決まります。

Q：「島外生徒受入事業」の申し込みや受験方法について教えてください。

A：例年10月中旬には東京都教育委員会のHPに掲載されますが、八丈町教育委員会（電話：04996-2-7071）に問合せいただいても大丈夫です。

【ホームステイについて】

Q：ホームステイ先の間取りや学校からの距離などは、どのようになっていますか。

A：ホームステイ先の場所や間取りは、受け入れるホームによって異なります。例年10月中旬には公開される予定です。

Q：ホームステイには、門限やルールはありますか。

A：家庭ごとにルールがあるように、ホームステイ先にもルールがあります。食事や入浴、家事のお手伝いや門限など、皆が安全で気持ちよく生活できるようにしています。

Q：ホームステイ先での休日の過ごし方は自由ですか。

A：八丈島の自然体験や部活動など自由に楽しむことができますが、町の行事等には計画的に参加して地域交流をととして八丈島の理解を深めます。

【島外生徒受入事業の過去3年間の状況について】

Q：今までのホームステイへの受入状況を教えてください。

A：平成30年度は募集1名に対して、受験者3名、合格者1名です。令和元年度以降は、ホームステイを募集していませんでした。

【島外生徒受入事業応募概要について】

Q：「島外生徒受入事業の応募の仕方について教えてください。

A：まず、10月中旬から11月初旬までに八丈町教育委員会に事前問合せを入れてください。

次に、11月初旬から11月中旬にかけて「出願（必要書類の提出）」になります。

そして、12月中旬に「島外生徒受入選考 受験（12月下旬、合格発表）」になります。

Q：応募する場合に、必ず島を訪問しなければならない日などを教えてください。

A：特に定めていませんが、応募する前に学校や生活するホームステイ先を訪問しておく安心です。「授業公開」や「八高祭」など、土日曜日等に学校を公開していますので、八丈高等学校全日制課程教務部（04996-2-1182）へお問合せください。

Q：出願に必要な書類は、いつもらえますか。

A：出願書類については、八丈町教育委員会（電話：04996-2-7071）へお問合せください。

Q：事前の問合せ先を教えてください。

A：事前の問合せ先は、八丈町教育委員会（電話：04996-2-7071）です。

出願にあたっては必ず事前に相談をしてください

【島外生徒受入事業ではなく移住について】

Q：島外生徒受入事業ではなく移住を考えていますが、どのような手続きが必要になりますか。

A：「東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目（東京都教育委員会）」に詳しく書かれていますが、島しょ以外の都内に住所を有し、都内の中学校を卒業する見込みの者のうち、島しょの都立学校への受検を希望する者で、入学日までに当該島しょ保護者とともに転居すること又は当該島しょに在住する身元引受人になり得る親族と同居することが確実な者は、「島しょへの転居及び身元引受人に関する申立書」を提出することにより、応募資格の審査に代えています。

出願時に願書とともに必要な様式（様式15-2等）を提出してください。詳しくは、八丈高校（電話：04996-2-1182）へお問合せください。

【移住する場合の相談窓口について】

Q：移住する場合には、住宅を紹介してくれますか。

A：八丈高校では、住宅を紹介することはできませんが、八丈町役場の企画財政課（電話：04996-2-1120）や八丈町移住定住促進協会（電話：04996-2-4784）がサポートしてくれます。

【通学方法について】

Q：八丈高校の定時制課程は、自動車やオートバイの通学が許可されていますが、全日制課程も同様ですか。

A：八丈高校の全日制課程では、自動車やオートバイの通学を許可していません。バスや自転車、または徒歩の通学になります。

Q：家賃はいくらぐらいですか。物件は、どのように探せば良いですか。

A：間取りも家賃も様々です。また、物件の空き情報は、例年、1月から3月くらいの間が多いようです。事前に不動産会社へ連絡しておけば、情報が入手できるようです。また、町営住宅がありますので、八丈町役場の建設課管財係（電話：04996-2-1124）へお問合せください。

【見学について】

Q：学校見学や授業見学はできますか。

A：事前に八丈高等学校全日制課程副校長（電話04996-2-1182）へお問合せください。「授業公開」や「八高祭」等、中学生や都民の皆様幅広く公開していますので、学校ホームページやTwitterで日時を確認してください。また、夏休みや土日曜日等、中学校を休まずに学校見学することも可能です。

Q：八丈島に行くには、どのような方法がありますか。

A：羽田空港から飛行機で行く方法と、竹芝桟橋から船で行く方法があります。飛行機はANAへ、船は東海汽船へお問合せください。

Q：八丈島に行くためのオススメの方法はありますか。

A：例えば金曜日の夜に竹芝桟橋から出発する船に乗れば、翌日の土曜日朝に八丈島に到着します。そして、土曜日に八丈島で一泊して、日曜日の午後に八丈島空港を出発する飛行機に乗って帰れば、両方を経験することができます。

Q：宿泊先には、どのような施設がありますか。

A：リゾート・ホテルや民宿等、沢山の宿泊施設があります。

Q：オススメの宿泊施設はありますか。

A：見学コースや島内を移動する交通手段等によってことなります。八丈町移住定住促進協会（電話：04996-2-4784）へ相談してください。

【八丈島の生活について】

Q：八丈島で生活するうえで、注意することなどはありますか。

A：八丈島には豊かな自然がありますので、鳥や昆虫等が沢山います。住宅によっては、アリやクモなどが入ってくることがあります。また、道路にはイタチやサソリモドキが居ることもあります。

Q：雨や風は激しいのですか。

A：雨や風は激しいと思ってください。島民の多くの方は、雨天時に傘ではなくレインコートを着用しています。台風の時には雨戸を閉めて生活しています。雨や風の強い日は自転車で移動することは容易ではありません。